

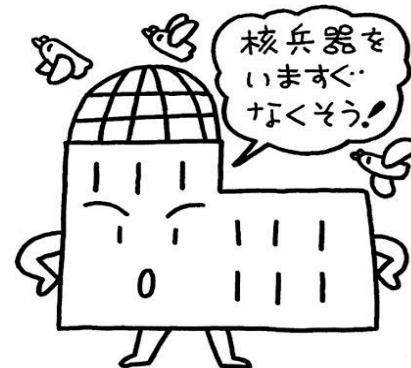
オバマ大統領 現職大統領で初めて広島訪問!

被爆地で、何を語るか? 核廃絶へ大きな一歩を!



今月27日、伊勢・志摩サミット終了後に、米オバマ大統領が被爆地・広島を訪れる予定です。米現職大統領が広島を訪問するのは、史上初となります。'09年プラハで「核のない世界」を目指す演説し、多くの人たちは、核兵器廃絶に大きな期待をしました。しかし実際には、廃絶を先送りし、核抑止力論の側に立ってきました。

今回、世界で最初の被爆地・広島を訪問し、何を語るのか?そして、就任当初に目指した核兵器廃絶へ一歩を踏み出すのか?世界中が注目しています。一瞬にして14万人もの命を奪い、18万人に及ぶ被爆者を生んだ残虐兵器を、一日も早くこの地球上から無くす事は、全ての人々の願いです。



他に比べようもない残虐兵器

今回の訪問では、平和祈念公園で犠牲者に献花し、平和資料館を視察することになる様ですが、出来る限り多く被爆の実相に触れてほしいものです。原爆が、いかに非人道的兵器であるか?国連でも禁止している「毒ガス」や「対人地雷」とは比べようもないほどの兵器であることを実感してほしいと思います。

昨年8月の「広島宣言」でも、被爆者の思いを直接聞き、被爆の実相に触れることで「核兵器禁止条約を含む法的枠組みの議論を始めなければならぬ」という確信につながる」としています。その思いを、正面から受け止め核廃絶への道に向かうかが問われています。



私たちは、「自分たちの仕事を通じて戦争に協力しない」「平和憲法を変えさせない」の一致点で学習や宣伝活動をしています。主な構成団体は航空連・国労・関門港湾・新聞労連・福岡市職労などナショナルセンターの違いを越えた緩やかな団体です。

平和憲法を守ろう!福岡労組連

連絡先: 〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 福岡市職労内
Mail: kumiai@fukuokacity-lu.jp Tel092-711-4940 Fax092-714-4013



米国内世論に変化が

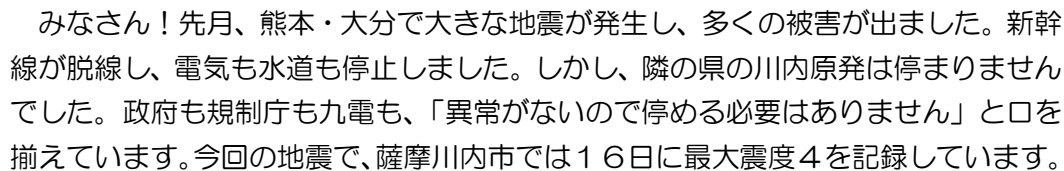
未だに米国内には、原爆投下が終戦を早め、日米双方の多くの命を救ったと正当化する考え方があります。しかし、核兵器廃絶を求める運動で、米国内の世論も変化しています。

原爆投下直後の45年8月には、85%が原爆投下を支持していましたが、昨年の調査では支持する人は56%にまで減っています。更に18%29才では、47%と遂に半数を切りました。

また、4月に行われたG7外相会議で、ケリー国務長官が、広島を訪問した際も、米国内に大きな反発は起きていません。

民意は・・・川内原発！直ちに停める！

19年前、大きな地震を受けても目視点検のみ？ホントに大丈夫？



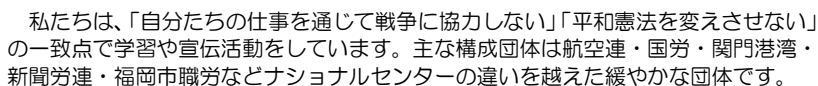
たとえ自動停止基準の震度５に達してないからと、運転を続けていいものでしょうか？更に、１９年前に発生した鹿児島県北西部地震では、震度５強と震度６弱の強い地震を続けて受けています。福島の実験を活かすなら直ちに停止し、キチンとした検査を行うべきではないでしょうか？もう想定外は、有り得ないというのが民意です。



原子炉を停止させ、詳細な検査を行うべきでは？

97年の地震発生直後も、作業員の目視点検だけで、キチンとした非破壊検査などは行わずに運転を継続しました。当時は、福島原発事故の経験もなく、日本中が「原発安全神話」に包まれていましたから、仕方が無かったかも知れません。しかし、福島事故を経験した今では、現在異常が無くとも、危険を予知し、幾重にも疑って、安全を確かめない限り原発を運転するべきでは有りません。「想定外」という言葉は、二度目は通用しない言葉です。

私たちは、運転から30年が経過し、過去にも大きな地震を受けた川内原発について、直ちに停止し詳細な検査する事を求めます。



平和憲法を守ろう！福岡労組連

連絡先：〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 福岡市職労内
Mail: kumiai@fukuokacity-lu.jp Tel092-711-4940 Fax092-714-4013



地震計の値に差が！

97年の地震で、川内原発の地震計では、水平方向に64ガルと71ガルの揺れが記録されていました。しかし、原発に程近い川内市中郷に設置された気象庁の地震計には444ガルと427ガルという桁違いの揺れが記録されています。

この時、地震計とは別に設置されている地震応答観測装置には、原子炉格納容器の壁で639ガルの大きな揺れが記録されています。九電は、再稼働に当たって「基準地震動」を620ガルまで引上げましたが、過去に基準を超える地震が有れば、基準値自体も疑問視されます。